

Japan Quality Antigen Rapid Test

前鼻孔 & 唾液兼用 抗原検査キット



純国産

簡単にできるセルフチェック

唾液も 鼻腔ぬぐいも 対応

15分で目視可能

専門装置不要

お手軽価格

変異株にも対応



感度
92.5%

特異度
100%

2021年3月、国内の試験機関にて、VLP (VIRUSLIKEPARTICLEウイルス様粒子=ウイルス表面と全く同じタンパク質を遺伝子組み換えで製造したもの) を用いた性能評価を実施したデータです。

例えばこんな時に、



- ✓ 定期的な健康管理
- ✓ 体調の目安確認に
- ✓ 帰省やイベント参加の前に

検出結果のアンケート調査にご協力をお願い致します▼



研究用試薬に関する重要説明

- 本製品は研究用試薬として販売しており、体外診断用医薬品としての製造販売承認を国内で得ておりません。疾病の診断（新型コロナウイルスに感染しているか否か）を目的として使用することは想定されておりません。
- 使用者の自己責任で手順及び注意事項を厳守し、正しく検査を行ってください。
- 検体採取や検査の仕方が不適切である場合には、偽陰性偽陽性が出やすくなります。
- すべてのPCR検査が感染状態を完全に正しく判定できるものではないことも含めて、本製品の検査結果とPCR検査の結果の一致を保証することはできません。

◆お問い合わせ・お見積りは【(株)ウェルネスサポート】へ



03-6712-8465



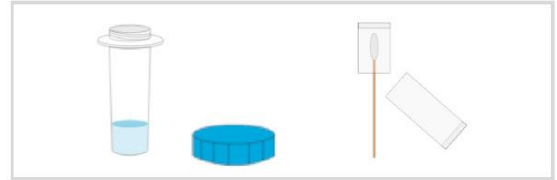
info@wellness-sp.co.jp



検査手順

1.内容物の開封

- 抽出液チューブのキャップを外しておく
- スワブを袋から出せるようにしておく



2.検体の採取（前鼻孔）

推奨

鼻の入り口約2.5cmまでスワブを入れ、5回ほど回して粘膜・粘液を拭き取る。

※ 鼻腔隔壁側（中心側）を強くこすると出血しやすいので注意

鼻腔検体採取前には

鼻をかむ、洗浄液等で鼻腔を洗う、ノーズスプレーなどの薬液を噴霧する等、ウイルスの数や状態に影響のあることをしないこと

検体の採取（唾液）

唾液が出やすいように頬を手で揉んだりしてマッサージしてから、舌の下から唾液を染み込ませるようにぬぐう

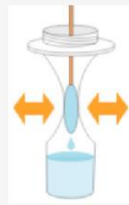
唾液検体採取前には

ウイルスの数や状態に影響のあることをしないこと。飲食、喫煙、歯磨き、マウスウォッシュから30分以上経過していること（水の摂取は可能）

3.検体溶液を十分に混ぜる



スワブを抽出液の中に入れ、スワブ先端綿球部をチューブ外側から押し5回ほど回転させる



スワブ先端綿球部をチューブ外側から押さえ抽出液を絞り出しながら、スワブを取り出す



滴下キャップをチューブにしっかりとめ込む

4.検体溶液をゆっくりと滴下

カセットを平らなテーブルに置いて、チューブを押して検体溶液をカセットの丸い穴に確実に3滴を入れる

※ 検体溶液不足または入れすぎの場合、結果に影響が出る場合があるので注意



結果の読み方

15分経ったら結果が確認できます。30分放置後の結果は採用しない。

陽性



「陽性」反応はウイルス検出を示しています。医療機関に相談してください。

❗ 陽性反応はT線に影のようなものではなく、鮮明な赤色がつきます。

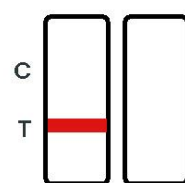
陰性



「陰性」反応はウイルス不検出または検出限界値未満を意味します。

❗ 症状から感染が疑われる場合は迷わずに医療機関に相談してください。

Cラインが出ない場合は無効（再検査必要）



◆お問い合わせ・お見積りは【(株)ウェルネスサポート】へ



03-6712-8465



info@wellness-sp.co.jp



国内の性能検査にて検証された高い性能

J-Test抗原検査キット性能試験内容と試験結果

1 試験方法

試験場所：弊社提携試験機関（医療機器製造販売承認保有機関）

試験検体：試験検体（抗原）には遺伝子組み換えによるVLP（Virus-like Particle = Nucleocapsid Protein）を使用した。

本抗原検査キットは特異的抗体により新型コロナウイルスの核たんぱく質部分を検出する、上記VLPは新型コロナウイルスの核たんぱく質（Nucleocapsid Protein）と同一のアミノ酸構成を有するタンパク質からなる粒子であり感染性を有しないため試験の過程で安全性が担保されている。

試験検体作成法：陽性検体は上記抗原を唾液検体にランダムな濃度で懸濁し作成
陰性検体は陰性者の唾液検体を使用
陽性検体、陰性検体共各40検体作成

2 性能試験結果

感度	92.5% (37/40)
特異度	100% (40/40)

偽陽性率（推定） 0% (0/40) *
偽陰性率（推定） 0.7% (3/4003) *
*国内の陰性者の比率を人口の99%と仮定

2021年3月20日
J-Test開発企業N-EMラボラトリーズ株式会社
(東工大発ベンチャー第108号)
東京都港区芝浦3-3-6東京工業大学
キャンパスイノベーションセンター505

感度
92.5%

特異度
100%

東京工業大学発ベンチャー企業による開発

会社名	N-EMラボラトリーズ株式会社（ネムラボラトリーズ） 東京工業大学認定ベンチャー企業（第108号）
本社	東京都港区芝浦3-3-6東京工業大学田町キャンパスCIC505
研究所	神奈川県横浜市緑区長津田町4259-3 東工大横浜ベンチャープラザE109
設立	2019年2月8日
役員	代表取締役 吉田修（元経済産業省、マッキンゼー等） 最高研究開発顧問 永山國昭
社員	3名（内1名は東京工業大学物質理工学院博士課程研究員（会社派遣））
開発協力者	東京大学工学部計数工学科大学院 研究員 東京工業大学生命理工学院大学院 研究員
事業内容	(ソフィア大・元生理研永山國昭研究室博士研究員) 電子顕微鏡の開発、製造及び販売 電子顕微鏡用位相板の開発、製造及び販売 光学顕微鏡・モバイル顕微鏡の開発、製造及び販売 蛋白質、核酸の解析法の開発及び販売 ウイルス感染防止機器の開発・製造・販売